

平成 28 年度 事業計画

高齢者人口は年々増加し、白山市でも平成 27 年当初に 60 歳以上の人口が 36,000 人、総数の 32%を超えました。

このような中、国では高齢者労働環境支援策の一つとして、「シルバー人材センターの職域拡大等の機能強化を通じて、高年齢者が活躍する機会の拡大を図る」とし、また「シルバー人材センターの『臨時的』『短期的』『軽易』という業務範囲限定の要件緩和などの見直しも検討する」と掲げています。

一方、雇用延長等による 60 代前半の入会会員の減少から会員平均年齢も 71 歳を超え、技能就業会員・女性会員の減少や年々削減される補助金の問題等、シルバー人材センターを取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。

今後、日常生活支援事業の実施や人材不足分野等への取組みの拡大等、シルバー事業の役割は益々重要になっており、センターの安定的な財政・事業運営を図るためにも、「会員の拡大」、「就業機会の拡大」及び「組織体制の確立」が重要課題とされています。

平成 28 年度においても引き続き重要課題に取り組むとともに、地域に密着し、信頼され、地域社会づくりに貢献するセンターを目指し、県連合会や白山市をはじめとした関係機関、並びに市民の皆様や各種企業・団体等のご理解・ご協力を得ながら事業を実施します。

1. 基本方針

- (1) 会員確保の推進
- (2) 就業機会の確保
- (3) 安全就業の徹底
- (4) 講習・研修
- (5) 組織体制の充実
- (6) 普及啓発

2. 実施事業

(1) 会員確保の推進

会員の高齢化や受注業務に迅速に対応するため、会員確保に努めるとともに、女性会員の増加に努めます。

- ・原則月2回の入会説明会の開催
- ・出張入会説明会の開催
- ・技能講習会受講者の入会促進
- ・会員口コミによる会員確保の推進

(2) 就業機会の確保

年々減少する補助金に対する自主財源確保策として、新規就業開拓、継続就業の確保、拡大に努めます。

- ・企業等への訪問、PR活動の実施
- ・市広報や新聞折込チラシによるPR
- ・高齢者世帯向け新規事業の創出

(3) 安全就業の徹底

事故ゼロを目指し、安全就業意識の高揚と啓発に努めます。

- ・就業現場パトロールの継続実施
- ・事故原因の分析と再発防止策の実施
- ・安全研修会、技能講習会の実施やパンフレットの配付

(4) 講習・研修

顧客ニーズや技能後継者不足に対応するため、資質向上や技能習得を図ります。

- ・技能講習会や接遇講習会等の開催

(5) 組織体制の充実

センターの活性化や財政基盤強化のため、効率的な事業運営を目指した組織体制の見直しを進めます。

- ・職員の効率的な業務分担と配置の見直し
- ・理事会、委員会等の機能強化

(6) 普及啓発

シルバー事業を周知するとともに、会員加入を促進するため、効果的な普及啓発活動を推進します。

- ・市広報や新聞折込チラシによるPR（再掲）